

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	生物資源学研究科
国	M1
大学名	タスマニア大学
国	オーストラリア
留学期間	2016年 6月 1日 ~ 2016年 10月 31日
派遣先での身分	学部生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
	通学
9:00	
	授業
10:00	
	授業
11:00	
	友人と過ごす
12:00	
13:00	
	授業
14:00	
	授業
15:00	
	授業
16:00	
17:00	
18:00	
19:00	
	家族と夕食
20:00	
	家族と過ごす
21:00	
	課題
22:00	
	課題
23:00	
0:00	

研究内容

研究課題	タスマニアの豊かな自然をはじめ世界の環境にも目を向けた環境管理学
------	----------------------------------

私は環境分野について国民の関心の高いとして知られているオーストラリアのタスマニアでタスマニア固有の環境問題から世界が直面しているビッグスケールな環境問題まで勉強しました。まず、タスマニア大学では地球温暖化や人口増加が進む中でどのようにタスマニアの雄大・貴重な自然を後世まで残していくことが可能であるのか、持続可能な環境づくりを目指した手法について学びました。実際に少人数で合宿に行き、デスクワークだけでなく、数々のオーストラリア政府による保護区も観察できました。また、学期の最後には個人でテーマとする保護区を設定し、その保護区独自の保護政策について考え、1人ずつ口頭発表をしました。そして、世界規模の環境破壊に関しては、現段階で各国が抱えている事情や経済レベルなどの様々なバックグラウンドによって、同じトピックでも異なる見解、意見、中にはその国の政府によって情報操作などが生じていることを学び、オーストラリアという多文化国家で様々な国の諸情勢を背負う人々とディスカッションをすることでどのようにグローバルな問題に協力して立ち向かえるかを学びました。

大学のサポート

チューターの有無	無
チューターのサポート内容	
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	UTAS ACCESS lev.5, AUD2,050, 5weeks

生活

住居のタイプ	①ホームシェア、②ホームステイ
住居の名前	
部屋タイプ	1人部屋
ルームメイト(国籍)	①ホームメイト:オランダ、カナダ、イギリス、オーストラリア、アイルランド ②オーストラリア
室内設備	①ベッド、勉強机、衣装掛け、ヒーター ②①の設備+テレビ
共用施設	キッチン、バスルーム、リビング
インターネット設備	有(しかし、ネット環境が悪くWI-FIが使えない日が多かった)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	①徒歩 ②バス、家族の車による送り迎え
アルバイトの有無	基本的に無
アルバイトの内容	数回、ベビーシッター兼日本語の先生

渡航	
Visaの種類	①旅行者ビザ ②学生ビザ
Visa申請先	Australian Government Department of Immigration and Border Protection
Visa取得にかかった日数	①1日 ②2週間
Visa取得にかかった費用	①20ドル ②550ドル
Visa取得方法、提出書類等	①オンラインでパスポート情報など入力しすぐに取得できる。 ②オンラインでオーストラリアにいる間勉強を続けるのに十分な資金を示すもの、日本からの交換留学生だと証明できるもの、OSHC(健康保険)への加入証明書、これまでの海外渡航歴、タスマニア大学の入学許可証など多くの情報入力が必要(今年は取得手続きに健康証明書必要なし)
留学先大学の最寄り空港までの経路	最寄り空港(Hobart international airport)→Tasmanian highway(A3)→を南下→Sandy bay road(B68)→タスマニア大学
渡航費用	15万
ピックアップサービスの有無	無(大学に本サービスは存在したが利用していない)

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	無
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	1/03/2017ごろ
帰国後の進路	修士課程卒業後、就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1AUD＝78円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	OSHC(おそらくAUD350)、学生付帯保険72,000(円)
学費(教科書代や語学コース授業料等)	教科書代AUD50、語学学校AUD2000
宿舍費(月額)	①AUD170/week ②AUD200/week
光熱費(月額)	宿舍費に含まれていたため不明
食費(月額)	①基本的には宿舍費に含まれていたため不明
その他	AUD150(友人との旅行、パーティ、その他諸々)
留学期間中にかかった費用の合計	約AUD8500

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

タスマニア大学への留学を決意した理由の1つとして、豊かな自然に囲まれて環境分野について学びたいということがありました。私のイメージ通りタスマニアのビッグスケールな自然や、通学途中で急にワラビーやポッサム、カラフルなオウムなどの野生動物が飛び出してくる日々には終始感動していました。また、私が感動したのはタスマニアの動物だけではありません。当然そのように自然豊かな環境で生活しているタスマニアの方々には環境分野について興味・関心を持っている人が多く、純粋に他地域からの外来種問題、旅行者による環境破壊、地球温暖化などの問題に対して深く懸念していたことにも心を打たれました。大学や保護区などではこのような環境破壊によって減少する野生動物を救うために絶滅の危機を知らせるポスターや募金箱を多く目にしました。このような環境問題をはじめ、タスマニア大学で出会った学生から彼らの考えを聞いているうちに、オーストラリアの学生はその他にも政治のことや身の回りの様々なことに対して、日本人の学生に比べて自分の意見をしっかりと持っていることに気づきました。はじめは、何を話しても言い負かされるのは言語の壁があるからだと思っていましたが、英語力が少しずつ伸びていくことに比例してこの考えが強くなっていきました。よって留学中に心がけていたのは自分の専門分野以外のことにもいつ意見を求められても良いように興味・関心・それらを踏まえた自分自身の意見をもって生きる必要性を感じました。これは自分の意見を言わなければよくわからないやつとして認知されてしまうと感じたオーストラリアではもちろん重要ですが、日本に帰ってからもこの習慣は続けていき、深く面白い人間を目指そうと思いました。これに加えて、オーストラリアという多国籍国家にいたことで、私は自分のやりたいように生きる習慣が少ついた気がします。これはどういうことかという留学中に会った人々は出身国も宗教も彼らの価値観も何もかも私とは全く異なっていました。私が日本にいたときにいつも気にしていたのは自分の言動に対しての周りの意見でした。私への評価を気にするあまり、勝手に自分で自分のしたいことを制限し、生きにくくしていたところがあったような気がしました。しかし、留学中に会った様々な価値観の人々が周りの評価よりも自分を押し通そうとすることをみて私がしていたことは無駄なんじゃないか。。。と思わせてくれました。同時に私も多くの意見や光景に関しての偏見がなくなり、柔軟性が高くなりました。例えば、まったく違う年齢の人が当然敬語など使わず互いに気を許して、対等に議論していたようなことも、私の中の絶対こうでなければならないという固定観念が崩壊するようで、私には目から鱗な光景でした。最後に英語力に関してですが、はじめは教授の言っていることが90%分からない、それをどうやって質問して良いかも分からず、そのせいで失敗することが多かったのですが、だんだんそのスピードに慣れていき、ディスカッションでも自分の専門分野に近いなど、明確にイメージがわくようなテーマの時は質問や自分の意見を出せたり、最後には自分の研究報告をクラスの前で発表したりすることもできるようになりました。今後この成果をIELTSやTOEICなどで数値化して確認していきたいと思います。

今後留学する人へのアドバイス

私が留学に行く前に起こしたVISAの問題について書きたいと思います。私は留学へそもそも志望するのが遅く、志望したは良いものの学校の行事・卒論・院試などに追われ、日本のことでいっぱいになり、正直にいうと留学する気持ちが少しずつ薄れていってしまいました。実際に留学関係のことに集中して取り組めたことはほとんどなく、いつも日本の課題がメインで留学関係に関しては片手間でやっていました。結局留学を何とか果たすことができたから良いもののなかなかぎりぎりなところだったと記憶しています。よって、このようなとき、なぜかモチベーションが下がってしまう、たくさん調べなければいけないことがあるのに1人ではなかなか進まないというときにお勧めは、留学関係の人、特にその大学に留学していた人を探して話を聞く！です。ホームページは多くの場合、日本語ではなく英語や他の言語で書かれている場合がほとんどで時間はかかるわりに多くの情報を取りこぼしてしまいがちだと思います。留学生支援室の方や英語が得意な先生など多くの人の助けを借りて、英語力の向上やややこしい手続きなどいろいろなものを乗り越えていってほしいと思います。1人で問題を解決することだけが問題解決力ではないです。多くの人々に適宜助けを求めていくことも大事です。これは留学に行くと右も左もわからなかったときに様々な人に助けていただいた経験から学びました。

報告書記入日